

# ARCAM

A5/A15/A25



## オーナーズマニュアル

## 安全に関する重要な注意事項

1. 本説明書をお読みください。
2. 本説明書を保管しておいてください。
3. 警告をすべて守ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 乾いた布を使って清掃してください。
6. 換気口をふさがないでください。メーカーの指示に従って本機を設置してください。
7. 熱源（ラジエーターや電熱器やストーブなど、熱を発生する機器）の近くに設置しないでください。
8. 極性付きまたは接地タイプのプラグの安全機能を損なうな使い方はおやめください。極性付きプラグの片方の端子は、もう一方の端子より幅が広がっています。接地タイプのプラグには、2個の端子と、接地端子が装着されています。幅広端子や接地端子は、お客様の安全のために装着されています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事士に相談して、不適切なコンセントを交換してください。
9. 電源ケーブルの上を歩いたり挟まないようにしてください。特に、プラグ、テーブルタップ、および機器のケーブル出口で電源ケーブルを保護してください。
10. メーカーより指定された付属品やアクセサリのみをお使いください。

11. 本装置は最高温度 35°C の穏やかな気候での使用を想定して設計されています。
12. メーカーが指定している、または、本器専用で別売されているカート、・スタンド、三脚、ブラケット、テーブルと一緒に使用してください。カートを使用する場合、カート/機器と一緒に移動している際に転倒させてけがをしないように注意してください。
13. 稲妻が光ったり、長期間使用しないときは、本器の電源ケーブルを抜いてください。
14. 整備はすべて有資格者に依頼してください。電源ケーブルやプラグが破損した場合、液体をこぼした場合、中に異物が入った場合、雨や湿気で濡れた場合、正常に動作しない場合、落下させた場合など、何らかの損傷が生じた場合には、修理が必要となります。
15. 本機を交流電源から完全に切断するには、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
16. 電源コードの電源プラグは、容易に操作できる状態にしておく必要があります。
17. 本機には、メーカーから提供される電源ケーブルや充電ケーブルのみを使用してください。



**警告:** 火災や感電を防止するため、本機を雨や水で濡らさないでください。

- 本器を水周りで使用しないでください。
- 本機に水滴や飛沫がかからないようにしてください。また、本機の上に、花瓶など液体の入った物を置かないでください。

警告	
感電の危険があります。開かないでください。	
	製品上のこの記号は、筐体内に、絶縁されていない危険な高電圧が存在し、感電の危険があることを意味しています。
	製品上のこの記号は、本ガイドに重要な操作手順やメンテナンス手順が記載されていることを意味しています。

安全上の注意事項の完全リストについては、[ARCAM.co.uk](http://ARCAM.co.uk) の製品ページにアクセスし、安全シートをダウンロードしてください。

### クラス II 機器

本装置はクラス II（二重絶縁）電気機器です。電氣的アースへの安全接続を必要としない方法で設計されています。

# 目次

安全に関する重要な注意事項.....	2
ARCAM 製品をお選びいただきありがとうございます.....	4
本器の配置.....	4
同梱品.....	4
フロントパネル.....	5
リアパネル.....	5
リモコン.....	6
コントロールを表示する.....	6
入力選択.....	6
スピーカーの接続.....	7
Bluetooth の操作.....	8
電話またはタブレットを接続：.....	8
ワイヤレスヘッドフォンを接続：.....	8
オーディオメニュー.....	8
電源.....	9
オートスタンバイ.....	9
入力の選択.....	9
フォノ入力.....	9
Service USB.....	10
ヘッドフォン.....	10
プロセッサモード.....	10
設定メニュー.....	11
メニューツリー.....	11
トラブルシューティング.....	13
仕様.....	14

## ARCAM 製品をお選びいただきありがとうございます

ARCAM の「A」はアンプを表しており、これがわが社の事業の核となっています。A5、A15、A25 は、1976 年に最初の製品 A&R Cambridge A60 を発表して以来 45 年以上アンプの設計と製造をしてきた当社の最新製品です。これらのアンプは、今後数十年にわたって高信頼の増幅が行えるように設計されており、優れた音楽性を有しているため、音楽を最大限に楽しむことができます。

万が一障害が発生した場合、または技術サポートが必要な場合は、メール [luxurysupport@harman.com](mailto:luxurysupport@harman.com) もしくは電話+44 (0) 1707 668012 または+1 888 6914 171 で、専門サポートチームにご連絡ください。故障が発生した場合、もしくは ARCAM 製品に関する詳しい情報が必要になった場合、当社販売店ネットワークが喜んでお手伝いいたします。詳細については ARCAM のサイト [arcam.co.uk](http://arcam.co.uk) をご覧ください。

## 本器の配置

- 本アンプは、直射日光や熱源や湿気を避けて、丈夫で平坦な水平面に設置してください。
- A5/A15/A25 は、パワーアンプなどの熱源の上に置かないでください。
- 本アンプは、十分な換気が行える場合を除き、本箱やキャビネットなどの密閉空間に設置しないでください。A5/A15/A25 は、通常の動作中、やや暖かい程度の温度で動作するように設計されています。
- 放熱器周辺の空気流が妨げられてアンプが過熱する恐れがありますから、本アンプの上に他のコンポーネントなどの物体を置かないでください(アンプの上に置いた機器も高温になります)。
- リモコンの動作が妨げられますから、フロントパネルディスプレイの右側にあるリモコン受光器の前に障害物を置かないでください。



A5/A15/A25は通常の使用時にも多少発熱しますが、大音量で長時間使用すると、アンプの筐体が手で触れなくなるほど高温になることがあります。

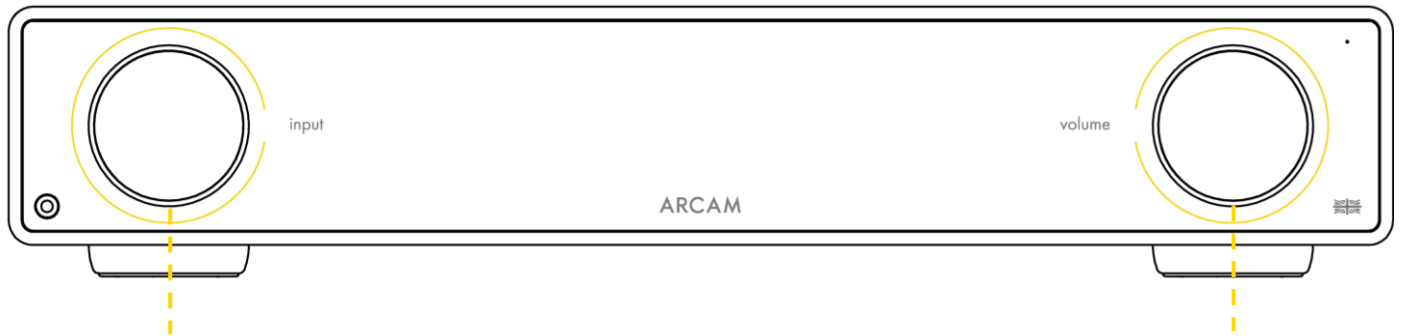
本製品にはユーザー電源管理機能を無効にすることができるオプションがあります。これを行うと、製品の消費電力が増加しますので注意してください。

## 同梱品

- ARCAM A5/A15/A25 プリメインアンプ
- 赤外線リモコン
- リモコン用単 4 電池 2 本
- 地域別の電源コード
- 安全性と法令順守に関する文書
- クイックスタートガイド

# ARCAM

## フロントパネル

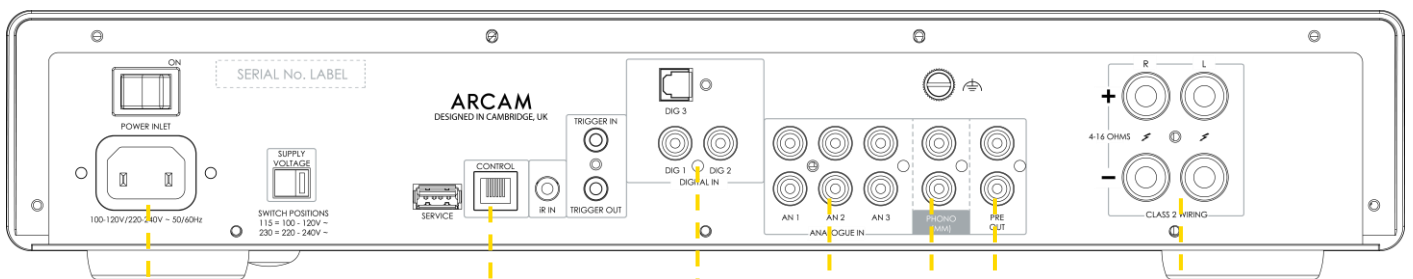


回して入力を表示  
押して選択  
長押しで現在の入力名を変更

回して音量調節  
押してミュート/ミュート解除  
あるいはウェイクアップ  
長押ししてスタンバイ

## リアパネル

A5 & A15



電源入力

コントロール入力  
ARCAM Radia シリーズの  
ソースの場合のみ使用

デジタルオー  
ディオ入力

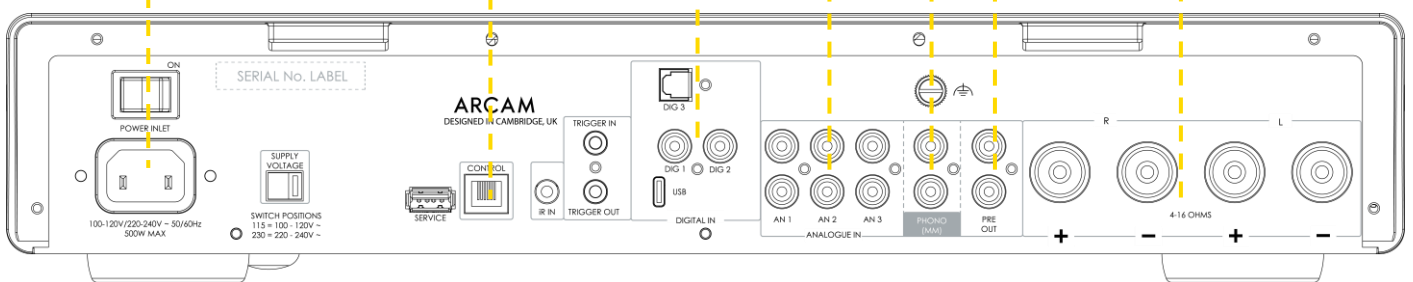
アナログオー  
ディオ入力

フォノ  
(MM) 入力

プリアン  
プ出力

スピーカ  
ー出力

A25




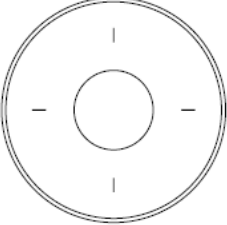






フォノアース



この端子を、安全アースとして使用してはなりません。

## リモコン



	スタンバイ動作の切り替え
	メニューナビゲーション 中央のボタンを押して選択
	音量調節
	ミュートのオンまたはオフ
	ディスプレイの明るさ
	トランスポートキー (再生/一時停止、前のトラック/次のトラックにスキップ)
	設定メニューを開く
	オーディオメニューを開く

注意：誤った電池を使用すると、危険な結果が生じる恐れがあります。使い古した電池と新品の電池を混ぜて使用しないでください。異なる電池を混ぜて使用しないでください。見た目は似ていても、電池が異なると電圧が異なることがあります。正しい方向に電池が挿入されていることを確認してください。

1 か月以上使用しない場合、機器から電池を外しておいてください。使用済みの電池は、お住まいの国や地方自治体の定めた規則に従って廃棄してください。

### コントロールを表示する

リモコンの☀️ボタンを押して、ディスプレイをオンまたはオフにします。

### 入力選択

リモコンの左←および右→カーソルボタンを使用します。

# ARCAM

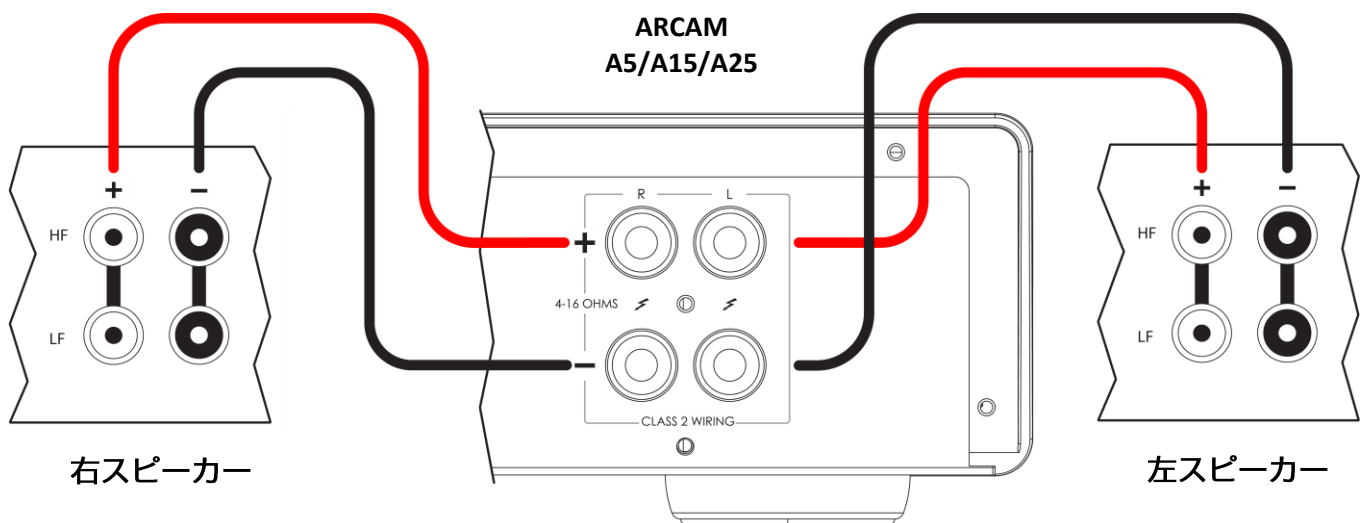
## スピーカーの接続

ステップ 1. 本アンプに電源が接続されていないことを確認します。

ステップ 2. スピーカーケーブルを使用して、アンプの赤い右スピーカー出力 (R+) 陽極端子を、右スピーカーの陽極 (+) 端子に接続します。

ステップ 3. アンプの黒い右スピーカー出力 (R-) 陰極端子を、右スピーカーの陰極 (-) 端子に接続します。

ステップ 4. アンプの L+および L-のラベルの付いた端子を使用して、左スピーカーでも同じ操作を繰り返します。



### 重要なヒント


- すべての接続をよく確認してください。ケーブルやワイヤーの裸線同士が接触していないか、また、アンプのシャーシと接触（この場合短絡状態になります）していないか、また、陽極 (+) と陽極、陰極 (-) と陰極が接続されているか、確認します。必ず、アンプとスピーカーの両方の配線を確認してください。
- 接続後：入力信号がない状態でアンプのスイッチを入れ、音量を最小まで下げます。ソース信号を選択し、間違った接続によって大きな音が出たり製品が損傷しないように、適切なりスニングレベルまでゆっくりと音量を上げてください。
- システムの接続方法についてご不明な点がございましたら、ARCAM 販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

## Bluetooth の操作


電話またはタブレットを接続：

- Bluetooth ソースデバイスをペアリングするには、ソースデバイスの Bluetooth 設定を開き、リストから **A5/A15/A25 #####** をスキャンします。各製品には固有の ID があります。
- デフォルトでは、アンプは、ソースデバイスの Bluetooth ペアリングの BT 入力ソースにある必要はありません。
- 本アンプは 5 台のデバイスとのペアリングを呼び出すことができます。すでに 5 台が登録されている場合は、一番古いものと置き換えられます。
- ポータブルデバイスにはボリュームスライダーが付いていることが多いため、誤って過大な音量が出力されないように、本アンプには最大音量設定が装着されています。デフォルトは 40 です。

ワイヤレスヘッドフォンを接続：

- Bluetooth ヘッドホンにペアリングするには、リモコンの  を押し、**Audio Output** を選択します。
- **SPEAKERS** が表示されたら、リモコンのカーソル下ボタンを押して、オプションを表示します。ペアリングされたヘッドホンが表示されます。または、**Pair BT Output** (A5/A15) または **Pair New Bluetooth Device** (A25) を選択します。ヘッドホンを検出しペアリングするには、ヘッドホンがペアリングモードになっている必要があります。
- Bluetooth ヘッドフォンは Bluetooth 入力では使用できません。

## オーディオメニュー

アンプの MENU ボタンまたはリモコンの  を押します。

リモコンのナビゲーションボタンを使用します。

オーディオ出力	<p>スピーカーまたは Bluetooth ヘッドホンを選択します。Bluetooth ヘッドホンをリストに表示させるには、オンにしてペアリングする必要があります。</p> <p>デフォルトはスピーカーです。</p> <p>新しい Bluetooth ヘッドホンをペアリングするには、ヘッドホンをペアリングモードにし、↓カーソルを押して <b>PAIR BT OUTPUT</b> (A5 &amp; A15) または <b>PAIR NEW BT DEVICE</b> (A25) を選択します。</p>
バランス	<p>UP カーソルボタンと DOWN カーソルボタンで左右の音量バランスを調整して、設定を選択します。</p> <p>デフォルトは <b>0</b> (中央) です。</p>
DAC Filter	<p>別の DAC フィルターを選択します。</p> <p>デフォルトは <b>0</b> (A5 &amp; A15) または <b>LIN PHASE FAST</b> (A25) です。</p>
(入力) PLL (A5 & A15 のみ)	<p>STD (標準) または WDE (ワイド) PLL 設定を選択します。ワイド設定は衛星レシーバーなど、音質が変わりやすいデジタルオーディオソースにより適しています。</p> <p>デフォルトは <b>STD</b> です。</p>



## 電源

- リアパネルの電源スイッチで、アンプの電源のオン/オフを切り替えます。接続が完了したら、アンプの電源を入れます。
- アンプをスタンバイの状態からオンにするには、ボリュームエンコーダーを押します。
- アンプをスタンバイの状態にするには、ボリュームエンコーダーを長押しします。

## オートスタンバイ

本アンプはオーディオの再生やユーザーの操作がない場合、20 分以内に自動的にスタンバイに入るように設計されています。これは国際的な電力消費規制を満たすためです。これはメニューでオフにすることができます。メニューの使い方については 10 ページをご覧ください。

## 入力の選択

オーディオ入力はいずれかを使用して選択できます。

- フロントパネルの INPUT セレクター。ダイヤルを回して入力に合わせ、押して選択します。
- リモコンの左←および右→のカーソルボタンを使用します。いずれの場合も、ソース名は入力ソケットのラベルに対応します。

入力は次のとおりです。

- フォノ (アナログ - ムービングマグネットカートリッジを装着したターンテーブル)
- Analogue 1、Analogue 2 および Analogue 3
- Digital 1、Digital 2、Digital 3 および USB-C (USB-C on A25 のみ)

注意：デジタル入力はステレオ (PCM) オーディオのみに対応します。マルチチャンネルオーディオやエンコードオーディオは再生できません。

## フォノ入力

フォノ入力には、レコードが再生できるように、ターンテーブルの MM (ムービングマグネット) カートリッジに対応したプリアンプが接続されています。

この入力には、絶対にターンテーブル以外の入力ソースを接続しないでください。ターンテーブル以外の入力ソースを接続すると、アンプとスピーカーの両方に重大な損傷が発生します。その場合保証は適用されません。

## ARCAM

### Service USB

本アンプの Service USB ソケットはソフトウェアのアップデートのみを目的としています。音声入力ではありません。

### ヘッドフォン


ヘッドフォンソケット (PHONES) には、3.5 mm ステレオジャックの付いたヘッドフォンを接続できます。初期設定では、ヘッドフォンを差し込むとプリアンプ出力とスピーカーがミュートされます。

注意：セットアップメニューの Headphone Override 機能を使用すると、ヘッドフォンを差し込んでプリアンプ出力とスピーカーはミュートされません。

### プロセッサモード

プロセッサモードでは、1 つの入力で音量が固定されます。どのアナログ入力にもアサインできます (Phono を除く)。このモードでは、ホームシネマと 2 チャンネルリスニングのコンビネーション環境で、本機を AV レシーバーと一緒に使用することができます。Processor Volume 設定を使用して、ソースアンプまたは AVR に接続されている他のスピーカーに合わせて音量を設定します。

## 設定メニュー

アンプの MENU ボタンまたはリモコンの  を押します。

リモコンのナビゲーションボタンを使用します。


### メニューツリー

システム設定	ストリーマー入力	ARCAM Radia ストリーマーが接続されている入力を選択します。 デフォルトは <b>NONE</b> です。
	ヘイローの明るさ (A25 のみ)	ダイヤルイルミネーションの明るさを選択します。 初期設定は <b>FULL</b> です。
	HP オーバーライド	有線ヘッドフォンが接続されている場合に、スピーカーをオンのままにするか、オフにするかを選択します。 初期設定は <b>off</b> (スピーカーがミュートされる) です。On = スピーカーのミュートが解除されます。
	プロセッサモード	固定音量の入力を選択します。 デフォルトは <b>OFF</b> です。
	プロセッサ音量	上記で設定した音量固定入力の音量を設定します。 デフォルトは <b>25</b> です。
	エコタイマー	オートスタンバイになるまでの時間です。無効にするには <b>Off</b> を選択します。 初期設定は <b>20m</b> です。
	IR コード	アンプのリモートコマンドがご家庭内の別のデバイスと競合する場合は、IR コードセットを変更してください。この設定を変更しても、リモートハンドセットには影響しません。 初期設定は <b>16</b> です。
	ソフトウェアバージョン	本アンプのソフトウェアバージョンを表示します。
	工場初期設定にリセット	アンプを工場出荷時のデフォルトにリセットします。Select を押してリセットを開始します。
	ソフトウェアアップデート	USB によるアンプソフトウェアのアップデートを開始します。Select を押して USB を開始します。アップデートを行うには、SERVICE の USB ソケットに、アンプソフトウェアが保存された USB がなければなりません。

## ARCAM

BT 設定	BT 自動スイッチ (Bluetooth 入力自動スイッチ)	接続した機器から音楽が再生されたときに、Bluetooth 入力の自動切り替えを有効または無効にします。 初期設定は <b>ON</b> です。
	BT 最大音量	Bluetooth 入力の最大音量を設定します。 デフォルトは <b>30</b> です。
	(デバイス) リストを消去する	アンプからペアリングされたデバイスのメモリーを消去します。 Select を押してペアリングを削除します。

## トラブルシューティング

問題	以下を確認
Bluetooth ヘッドホンから音が出ない	<p>アンプが接続される前に、ヘッドホンが電話やタブレットなど他のデバイスに接続されていないか確認してください。</p> <p>ヘッドホンから取り外すと自動的にミュートされる省電力機能（ヘッド検出）が付いている場合、ミュートを解除して、再装着時にサウンドを復元する必要があります。</p>
音が出ない	<p>アンプが電源に正しく接続され、電源スイッチが入っていますか？</p> <p>オーディオソースが正しく接続され、正しい入力を選択されていますか？</p> <p>アンプがミュートされていませんか？</p> <p>アンプが保護モード(下に説明があります)になっていませんか？</p>
不意に音が出なくなった	<p>アンプが保護モードになっている可能性があります。フロントパネルに故障の種類が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>故障 DC オフセット：アンプが過負荷を検出しました。電源をオフにして、再度オンにした後、音量を下げてください。</li> <li>故障ショート（回路）：アンプが、スピーカーの短絡を検出しています。スピーカーケーブルをすべて点検して、互いに接触していないか確認してください。この故障は、スピーカーの接続に、末端未処理ケーブルを使用した場合によく起こります。</li> <li>故障温度超過：本器内部の温度が危険なレベルまで達しています。アンプの温度が下がるまで待ちます。</li> </ul> <p>スピーカーへの出力電力が停止するように、アンプの電源が自動的に切れます。アンプを引き続き使用するには、不具合を修復し、リアパネルの電源スイッチでアンプの電源を一旦オフにしてから、再度オンにする必要があります。</p>
アンプがリモコンに反応しません	<p>リモコンに新品の電池が入っていますか？</p> <p>リモコンとアンプの間に障害物がなく、リモコンがアンプの窓を向いていますか？</p>
フロントパネルディスプレイに何も表示されない	<p>アンプが電源に正しく接続され、電源スイッチが入っていますか？</p> <p>アンプがスタンバイ状態になっていませんか？</p> <p>ディスプレイが「Off」で暗くなっていませんか？</p> <p>リモコンの  ボタンを押します。</p>
アナログ入力でハムが出る	<p>すべてのケーブルの接触が良好であることを確認してください。</p> <p>コネクターからケーブルを一旦抜いて、もう一度完全に差し込んでみます（これを実行する前に電源を切ってください）。</p> <p>ソースの接続を外すとハム音が止まる場合は、ケーブル、もしくは、ケーブルの接続先のソースデバイスに問題がある可能性があります。</p>

# 仕様

チャンネルあたりの連続出力（高調波歪0.5%）		A5	A15	A25
両チャンネル駆動、8Ω、20Hz～20kHz		50W	80W	100W
両チャンネル駆動、4Ω、1kHzにて		75W	120W	165W
高調波歪、出力80%、8Ω、1kHzにて		0.003%	0.002%	0.002%
<b>アナログ入力</b>				
入力数		3 (RCAペア)		
SN比（A重み付け、50W、入力1Vにて）		106dB		
周波数応答		20Hz～20kHz ± 0.2dB		
<b>フォノ MM 入力</b>				
入力インピーダンス		47kΩ + 100pF		
周波数応答（RIAA曲線に対して）		20Hz～20kHz ± 1dB		
SN比（A重み付け）50W、入力5mVにて		80dB		
<b>デジタル入力</b>				
DAC		ES9018K2M		ES9280A PRO
サポートされるサンプリングレート (kHz)	同軸	44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192		
	光学	44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192		
	USB-C	NA	44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384	
サポートされるビット深度		16ビット、24ビット		16ビット、24ビット、32ビット
サポートされるDSD	USB-Cのみ	NA		64, 128, 256, 512, 1024
周波数応答 (フィルタ1)		20Hz～20kHz ± 0.2dB		
SN比（A重み付け、50W、0dBFSにて）		109dB		110dB
<b>Bluetooth</b>				
RF周波数帯域		2400～2483.5 MHz		
最大出力		<10dBm		
<b>ヘッドフォン出力</b>				
32Ω/300Ωの最大出力レベル(RMS)		2.5V/5V		
負荷範囲		16Ω～2kΩ		
<b>全般</b>				
主電圧		100Vまたは110～120Vまたは220～240V、50/60Hz		
最大消費電力		350W	500W	500W
スタンバイ時の消費電力		<0.5W	<0.5W	<0.5W
寸法 幅 x 奥行 (スピーカー端子を含む) x 高さ (足を含む)		431 x 344 x 83mm	431 x 344 x 98mm	431 x 344 x 83mm
本体重量		8kg	10kg	9kg
梱包重量		11kg	13kg	12kg



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。ハーマン・インターナショナル・インダストリーズはライセンスに基づきこれを使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者のものであります。

# ARCAM



HARMAN International, Incorporated

8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329 USA

Danzigerkade 16G 1013 AP Amsterdam, Netherlands

Ground Floor, Westside 2, London Road, Apsley, Hemel Hempstead,  
Hertfordshire, HP3 9TD, United Kingdom

[www.arcam.co.uk](http://www.arcam.co.uk)

© 2023 HARMAN International Industries, Incorporated. 版權所有。

ARCAM は、米国および諸外国で登録済の HARMAN International Industries, Incorporated の商標です。

機能、仕様、外観は予告なく変更されることがあります。



84-0-133101-0